

ちばらえ



女性協議会

民放労連女性協議会

第40回定期大会開催

10月5日に民放労連女性協議会（女性協）の第四〇回定期大会が東京、青山にある「こどもの城」の会議室で開かれました。3月の拡大常任委員会に続いて、今回も託児が用意されての開催となりました。会の冒頭でテレビ東京労組出身の白石議長が「何も分らない中で女性協に参加したが、私はこの会が好きで、

勉強になり、刺激になった。有意義な一年でした」とあいさつしました。

2013年の課題別の方針についてはまず、働きやすい職場の実現を求めます。具体的にはダイバーシティ（多様性）を推進すること、女性の管理職を増やしたり、ワークライフバランスを実現したり、結婚、出産、年齢などを理由とし

た退職勧奨や処遇の差別を行わないことなどです。また、セクハラ、パワハラ、出産育児手当の充実の要求など身近な問題に取り組んでいきます。さらに男女雇用平等の実現に向け企業にポジティブアクションを求めます。また、放送に従事する女性の積極的な採用、登用を求めます。そして活力ある組合の基盤作りなどについても取り組んでいきます。

女性に特化する問題についての話し合いでは、「出産後に復職を考えていた契

●女性協
URL
<http://www.minpororen.jp/women/index.html>

てですが、今年開催の東北からは「全国の皆さんからパワーをもらい、東北はとも元気になったと思いま



働きやすい職場の実現をめざして

す」との報告がありました。来年のつどいは広島で6月14日（土）の一日開催を計画しています。テーマはま

だ決まっていますが、会場は平和記念公園の近くの国際会議場で、基調講演の後には五つほどの分科会に分かれる予定です。多くの方の参加をお待ちしています。

今回の定期大会では特別講演会も開かれ、メンタルトレーナーの田中ウルヴェ京さんがストレスの対処法について話しました。田中

さんによりますとストレスは人それぞれ違い、何を原因に、どのような心の反応が起きるかを正確に把握す

る大切だということでした。そして、原因と反応がはつきりすれば、例えば落ち込んでいる時は「ハッ、ハッ、ハッ」と声を出して気合を入れるだけでストレスは発散できると話しました。また、生活の中で喜怒哀楽を出すことがストレスを溜め込まないためには必要だということでした。

会の後には懇親会も開かれ、職場での問題や育児についてのさっくばらんな意見交換が行われました。